

卒業研究 II

科目ナンバリング THE-402
必修 4単位

勝田 映子

1. 授業の概要(ねらい)

本講義は春季に引き続き、生活主体を育む教育方法に関する内容を扱う。今期は特に食に関する教材研究のグループワークに取り組む。

また、全員が研究計画を立て、各自の研究テーマについて主体的に研究して発表を行い、ディスカッションを基に論文やレポートを執筆することを目標とする。

2. 授業の到達目標

- ・一つの教材を多角的に分析し、授業として活用する際の長所と課題とを挙げるができる。
- ・自ら設定した主題に基づいて調査研究並びにプレゼンテーションを行い、ディスカッションを基に論文やレポートにまとめることができる。

3. 成績評価の方法および基準

- ・毎回の授業ポートフォリオ40% レポート・論文・提出物50% プレゼンテーション10%の割合で、総合的に評価する。

4. 教科書・参考文献

教科書

木下是雄 『レポートの組み立て方』(ちくま学芸文庫/1994年) 筑摩書房

参考文献

根ヶ山光一編

『子どもと食』(2005年)

東京大学出版会

平井明代 『教育・心理・言語系研究のためのデータ分析入門』(2017年) 東京図書

5. 準備学修の内容

- ・授業の中で指定された参考文献を必ず読了し、ノートにまとめてくること
- ・各自のテーマを研究計画に沿って主体的に調べ、レジュメにまとめてくること

6. その他履修上の注意事項

- ・授業ではグループ活動が半分を占める。主体的に参加し、提出物は締め切りを厳守して提出すること。
- ・また、各自の研究テーマについての発表もあるので、個々に質問に来るなど主体的に研究を進めて欲しい。

7. 授業内容

- 【第1回】 食の生産に関するフィールドワーク(宇都宮大学附属農学部附属農場での農業・畜産実習)
- 【第2回】 フィールドワークに関するレポート発表と、各自の研究テーマならびに研究計画の発表
- 【第3回】 教材研究1: グループメンバーと教材研究テーマの決定
- 【第4回】 教材研究2: グループで担当した教材についての研究を進める。実験、体験的な活動の開発等
- 【第5回】 教材研究3: グループで開発した教材を用いた指導案の作成と模擬授業の準備
- 【第6回】 第1グループの研究発表、模擬授業と討論(野菜、果物の加工を活用した授業)
- 【第7回】 第2グループの研究発表と模擬授業と討論(小麦粉の加工を活用した授業)
- 【第8回】 第3グループの研究発表、模擬授業と討論(米の加工を活用した授業)
- 【第9回】 第4グループの研究発表、模擬授業と討論(肉、魚の加工を活用した授業)
- 【第10回】 各自の研究テーマについての発表と討論1(食文化に関する内容)
- 【第11回】 各自の研究テーマについての発表と討論2(栄養に関する内容)
- 【第12回】 各自の研究テーマについての発表と討論3(食べ方、食生活に関する内容)
- 【第13回】 各自の研究テーマについての発表と討論4(スポーツ栄養学に関する内容)
- 【第14回】 各自の研究テーマについての発表と討論5(食と健康に関する内容)
- 【第15回】 全メンバーの研究を振り返って(研究の成果と課題)